

vol. 2313

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館
TEL／(097) 556-2838 FAX／(097) 556-8998 MAIL／ohtwu@view.ocn.ne.jp

大分県高教組情報

【発行者】大野 真二

【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ

【売価】30円(組合員の購読料は組合費の中に含んで徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 2024年新春のごあいさつ

2024年新春のごあいさつ

「教え子を再び戦場に送るな」の決意を持って反戦平和、
憲法改悪を許さないとりくみを

大分県高等学校教職員組合

執行委員長 大野 真二

あけましておめでとうございます。

国際情勢が緊迫感を増しています。ロシアのウクライナ侵略はもう2年になろうとしていますし、ハマスのテロ行為への報復として、イスラエルはガザ地区への軍事侵攻を続けています。そして、ロシアもイスラエルも国際社会の批判に全く耳を貸そうとはしていません。侵略やテロ行為が続く国際情勢を受け、軍事力を増強しなければ国は守れないという風潮が、日本国内にも広がっているように思えます。世界中の人々が安全安心な生活を送るためには、各地で今

も続いている戦闘の即時停止こそが最優先であるはずなのに、反戦平和を求める声は揶揄される状況となっています。

県内でも、日出生台演習場での日米共同軍事演習が頻繁に行われていますし、陸上自衛隊大分分屯地の弾薬庫新設や大分空港での航空自衛隊機の離着陸訓練など、「九州の基地化」が進んでいる状況を強く実感します。立憲民主党・平和運動センターを中心に組織している「日出生台対策会議」が、昨年9月、弾薬庫の問題について防衛省に申し入れを行いました。防衛省側の回答は、多くの部分が「国防に関する事案のためお答えできない」という不誠実なものでした。さらに弾薬庫が攻撃対象となることへの不安については、あろうことか「そういう事態が生じないための兵器備蓄である」という、明らかに矛盾した論理のもとに日本の防衛政策は展開されています。屋久島近海にオスプレイが墜落した際、防衛副大臣は「不時着水」という表現を用いました。さらにオスプレイの飛行停止を求める沖縄県などの要請にも日本政府はアメリカに強く飛行停止を求めませんでした。これらのことから分かるように、日本国政府が唱える「防衛」は、わたしたち国民の生活を守るためのものではなく、戦前の言葉でいう「国体」、つまり政治体制を守るためのものであり、アメリカに従属するものであることは明白です。「新たな戦前」ともいえる現状ですが、2024年は、これまで以上に反戦平和のとりくみをすすめるべきではありません。

昨年の統一自治体選挙以降、何度か解散総選挙が想定されました。支持率が低迷していた岸田政権は、首相が強調する経済政策が国民から強い批判を受け、さらに政治資金パーティーの問題などで、もはや与党内でも求心力を失っています。今年の通常国会で予算案が成立すれば、その後はいつ解散総選挙となっても不思議はありません。今高まっている与党に対する逆風を、想定される総選挙においてきちんと結果に反映させなければなりません。しかし、忘れてはならないことは、衆参両院とも改憲勢力が三分の二を超えている現状では、与党が減らすであろう議席を、憲法擁護の立場をとる政党でしっ

かり確保しなければなりません。現状では、次期総選挙は政治とカネの問題や大阪万博などが中心に報道されそうですが、反戦平和や脱原発などのわたしたちのとりくみ、そして憲法改悪を許さないとりくみをすすめなければなりません。

昨年5月、新型コロナウイルスが感染症法上の分類で5類とされて以来、さまざまな行事が3年ぶりの形で行われました。やはりわたしたちの運動は、仲間が集まって行ってこそ活力になるということが実感できました。一方で感染拡大期間に、多くの行事を中止や縮小したことの弊害も明らかとなりました。変えるべきことは変え、守るべきことは守り、今年は新たな高教組の運動のあり方を構築する年としなければなりません。

今年、高教組は組織の力を結集し、勤務労働条件の改善はもちろん、学校をめぐる諸課題の解決、そして「教え子を再び戦場に送るな」の決意を新たに、反戦平和・憲法改悪阻止にとりくむことを確認し、年頭のあいさつといたします。

子どもの権利の保障と学校の働き方改革の実現を!!

日本教職員組合 中央執行委員長

瀧本

司

大分高教組のみなさま、あけましておめでとうございます。

「こども大綱」が12月に閣議決定されました。政府のあらゆる施策で「こどもの最善の利益」が保障されることが重要になります。子どもの権利が保障されるインクルーシブな社会を実現していきましょう。

現在、中教審特別部会で議論がされていますが、真に学校の働き方改革に資するのかは予断を許しません。日教組は、「給特法の廃止・抜本的見直し」を求めるとともに、教職員定数増と大胆な業務削減による、さらなる学校における働き方改革の前進を求めます。

岸田政権は、「政治とカネ」の問題、減税方針への批判などで国民の支持を大きく失っています。このような時だからこそ、組合員の政治への関心を高める努力をはかり、積極的なとりくみをすすめましょう。すべての子どもたちに平和で民主的な社会を引き継ぐため、組織の拡大・強化をはかりながら、未来につなげる運動を強化していきましょう。

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて

日本労働組合総連合会大分県連合会 会長

石本

健二

大分県高教組組合員の皆さん、そしてご家族の皆さん、謹んで辰年年頭の御祝詞を申し上げます。常日頃より連合大分の諸活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り衷心より感謝を申し上げます。

長きにわたり私たちの生活に多大な影響を及ぼし続けた新型コロナウイルス感染症は5類移行となりコロナ前の日常を取り戻しつつありますが、実質賃金の上昇が物価高騰に追いついていないなかで生活苦は続いていると言わざるを得ません。

加えて、中東における地政学的リスクが顕在化・深刻化する等、国際的に不安定な経済・政治情勢により国民の将来への不安は払拭出来ない状況が続いています。私たち、連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」を実現していくためには、誰もが将来への希望を描ける政策・制度の実現が必要不可欠ですが、今の政府・自民党に期待は皆無です。来るべき解散総選挙に備え、連合大分として組織強化に繋がる体制づくりを進めて参ります。ともに頑張りましょう。

核も戦争もない社会をめざして

大分県平和運動センター事務局長

佐藤

俊生

大分県高等学校教職員組合のみなさん、新年あけましておめでとうございます。常日頃より、大分県平和運動センターへ力強いご支援をいただいていることにに対し、心より御礼申し上げます。あわせて、大野真二議長を選出いただいていることにも感謝申し上げます。

さて、岸田政権は日本の安全保障戦略を大転換し、軍事費を増大し敵基地攻撃能力を保有することで戦争ができる国に向かっていきます。明らかに「新しい戦前」から「新しい戦中」に近づいています。憲

法前文と第9条が掲げる理念を基本に、武力に依存せず核も戦争もない社会を実現していくことがなによりも重要です。そのためにも様々な市民や団体と共闘を強め活動を強化して参ります。結びに、本年が皆様方にとって幸多き年、希望の持てる年になりますよう、祈念申し上げ、年頭のご挨拶にさせていただきます。

大分2区から政治を変える

日政連・衆議院議員 吉川 元

大分県高教組の組合員、ご家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

教員の皆さんの長時間労働、所定内を上回る在校等時間の上限ガイドラインが実施されてから数年が経過しますが、相変わらず、厳しい状態が続いています。教職員を増やし、皆さんがゆとりを持って働けるような根本的な解決をめざし、今後も皆さんと手を携えてまいります。

さて、支持率が20%を切るような岸田内閣は、もはや政権を担う体をなしているとは言えません。国民から大きく遊離し、信頼を失った政治には、一刻も早く終止符を打つことが必要です。

私たちの暮らしに明るい兆しを灯すような政治、地方から社会を豊かにする政治、そんな政治を実現するため、近い将来実施されるであろう総選挙では、大分2区でしっかり議席を獲得いたします。そのために、皆さんの信頼を勝ち取れるよう、地べたをはいつくばって頑張る1年にする決意です。本年もよろしくお願いいたします。

今年も現場の声を国会へ届けます

日政連国会議員団会長 参議院議員 水岡 俊一

あけましておめでとうございます。日々子どもたちのためご奮闘されている教職員のみなさんに心より敬意を表します。学校教育が多様化する中、教職員の業務量は増える一方です。もとより多忙な勤務を強いられている教職員のみなさんです。どうか健康にご留意のうえ、本年もご活躍ください。

昨年は、文科省が行った教員勤務実態調査の結果が公表され、教職員の働き方についての衝撃的な実状が明らかになりました。この結果をもとに、国は教職員の働き方を真剣に見直していく必要があります。

いま必要なのは、定数増と給特法の抜本的な見直しです。給特法改正については、今年の国会で議論が始まる可能性があります。委員会審議では、日政連議員を中心に現場の声をしっかりと政府に届け、給特法の抜本的な改善を求めています。

この一年も、みなさんと連携し、子どもたちの笑顔と学びのため、教職員の働きやすい環境作りのため、仲間とともにがんばってまいります。

議員の仲間を増やして頑張ります！

日政連・参議院議員 古賀 千景

大分高教組の皆さん、明けましておめでとうございます。旧年中は、多くのご支援、本当にありがとうございました。

4月からの新高等学校学習指導要領実施により、観点別評価が入り、多忙化に拍車がかかったと聞いています。また、他にも25年からの「情報」の大学入学共通テスト導入、生徒数減少による高校の統廃合や普通科の再編、オンライン端末の地域格差、進まないインクルーシブ教育、定数内不合格等、多くの高校課題についても伺っております。教職員の働き方改革も、なかなか前進していないのが現状で、課題は山積しています。

しかし、国会では、「奨学金」「教職員の働き方」等の話題が他党からも少しずつ出てきており、教育に対する意識は高まりつつあります。この流れに乗り、高校課題の解決、そして教職員の働き方改革前進に向けて、賛同する議員を増やし、

頑張ってまいります。

皆さんの声が私の質疑、討論を作ります！今年も多くの声を聞かせてください。

衆議院選挙に勝利し政治の流れを変えましょう

立憲民主党大分県連代表 前参議院議員

よしだ ただとも
吉田 忠智

あけましておめでとうございます。

昨年は、急遽4月に行われた参議院大分選挙区補欠選挙でのご支援に感謝申し上げます。僅差で敗れ、大事な時に国会の現場を離れることになり、申し訳ありませんでした。

岸田政権は、平和憲法にそむく軍事大国化と防衛増税、原発回帰、憲法改悪や財政規律を無視した補正予算や選挙目当ての減税等、悪政を強行し、学校現場でも、物価高に見合う実質賃金の引き上げ、厳しい勤務実態の改善、デジタル改革やAIへの対応など多くの課題があります。

今年は、解散総選挙の可能性が高いと思われます。今度こそ組織内大分2区「吉川はじめ」の選挙区勝利と3区・1区で勝利し、政治の流れを変えなければなりません。

私も働く仲間の代弁者として高教組の課題解決・前進と選挙勝利に向けて誠心誠意取り組む決意です。

本年が組合員・ご家族の皆さん方にとりまして、明るい希望の持てる年になりますよう祈念申し上げます。

2024年の目標

社会民主党大分県連合代表

くぼる かずひろ
久原 和弘

大分県高等学校教職員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

衆議院解散総選挙も自民党の政治資金パーティーや岸田内閣支持率22.3%（共同通信社）となり過去最低を更新する等で、若干遠のいた気がしますが、しかし、必ず近いうちにあるという思いで推移を見守る必要があります。

昨年の12月16日、社民党基地問題研究会は敷戸弾薬庫に調査に入りました。福島党首以下27名です。全国の仲間の一声が「こんな団地のど真ん中に基地があるとは」でした。周囲3kmの範囲に数多くの団地があり、大分大学を始め小学校六校等、中学、高校、病院、介護施設など、約4万人が住んでいます。全国から来た仲間から、これは弾薬庫でなく、「ミサイル発射基地」ではないかと驚きの声です。この2点、衆議院解散総選挙、敷戸弾薬庫撤去を今年の目標に定めて共に闘っていきましょう。

平和と民主教育を守ろう

大分市議会議員

たかの ひろゆき
高野 博幸

新年明けましておめでとうございます。

平素から、あたたかいご指導・ご鞭撻いただいておりますことに、感謝とお礼を申し上げます。本年も新たな気持ちで皆様のお役に立てるようにがんばってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて近年、親の経済力や幼少期の生育環境によって、人生のスタートライン以前の段階から大きな格差が生じ、世代を超えて格差が固定化する現象が問題になっています。仮に競争の結果としての格差を認める立場に立つとしても、子どもの教育機会の不平等は認めることはできないはずです。資源がない日本にとって、人材こそが最大の資源でありその源は教育です。これからも平和と民主教育を守るために皆様とともに全力でがんばってまいります。

結びに、今年1年が皆様にとって、よい年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

子ども達の未来に真の人権と多様性が認められる社会を

中津市議会議員 須賀 要子

新年あけましておめでとうございます。

お健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年の統一地方選挙では二期目の再選を果たすことができました。ひとえに皆様のご支援のたまものと感謝申し上げます。

さて、国際情勢、国内情勢は悪政によって前進するどころか後退しているようにも見える状況です。その中で、私は改めて真の人権と多様性が認められる社会を目指していきたいと決意しています。

全ての子ども達と働く人たちにとって人権が守られ、多様性の認められる学習の場となりますように、私も現場（議会）でしっかりと声を上げていきたいと思えます。変わらぬご支援ご鞭撻を宜しくお願い致します。

皆様にとって本年が「幸せ」な一年でありますように、心よりお祈り申し上げます。

高教組のみなさんへ

大分県高等学校退職教員協議会会長 梶原 悟

私の母は1931年に九重町日出生台の「乙津」と言うところで生まれました。昨年、運転免許を返納したくらいですから、いまだ元気です。母の青春時代は、第2次世界大戦の真っただ中でした。戦闘機からの機銃掃射を受けたこともあるそうです。父を戦争に取られ、口減らしに親戚にあずけられました。敗戦により平和が訪れたと思いきや、自衛隊の演習地拡大のため故郷をなくしました。

ですから、母の生きている間に再び戦争を体験させたくありません。そのためにも、高教組を退いても、憲法を護り平和運動を続けなければならないと思っています。

さて、高退教運動を少し紹介し、行く末はともに活動をしていただくことを希望します。

独自の活動としては、

- ① 7月に学習会、総会、懇親会を行っています。本年度は4年ぶりに懇親会が行われ、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。
- ② 年1回の高退教通信を発行しています。高退教の運動の報告や、寄せられた皆さんの近況報告なども掲載しています。懐かしさを感じられます。
- ③ 年数回の幹事会を行いながら学校現場の情報を本部の皆さんからいただいています。あまりの変化に驚くことばかりです。
- ④ 全国組織（日退教）や九州組織（九プロ）と連帯し、学習会、平和運動などを行っています。毎年沖縄の辺野古にも行っています。
- ⑤ 県内では連合、平和センター、分退連（連合の退職者組織）、退現教（県教組退職者組織）などと連帯して活動をしています。グラウンドゴルフに参加した方々はみんな楽しかったと言っています。特に私が必ず参加するのは、「大分県の民主教育を進める県民会議」です。県教組・高教組・現退教・高退教・平和センター・義務制の保護者・県議会議員が県教委に対して様々な問題提起を行い、ともに解決策を探る話し合いです。現職の働き方改革や特に支援学校の教員確保などは必須の課題であり、県教委が保護者からの直接の声を聴く機会はこのほか無いのではないのでしょうか。「身につまされることしきりです」。

退職後、非常勤で勤められている方も高退教に入会出来ます。どうぞ高教組本部に事務局がありますので、お問い合わせください。本年がみなさんにとって良い年でありますように願います。

あけましておめでとうございます

大分県高校生協は、教職員の福利厚生に一端を担う相互扶助組織とする職域生協として、組合員の安全で安心して豊かな暮らしを求め、ともに支え合う共生社会の実現のために、職員一丸となってがんばっています。本年も大分県高校生協のご利用とご協力をお願いいたします。

○共同購入

○指定店・協力店

紳士服 メガネ 宝石 文具/事務機 絵画 高麗人参
豚肉加工品 白蟻予防/駆除 住宅/マンション 塗装
住宅機器 リフォーム デザイン/印刷/翻訳
ガソリン 電解水素水整水器 他

○旅行・航空券

○指定整備工場

○葬祭事業

○共済・保険事業

○クレジットカード

○オンラインショッピング (PC・家電・書籍)

協同の輪をひろげ、組合員のくらしと仕事を総合的にサポートする
平和で安心して暮らせる社会の実現をめざして

大分県高等学校生活協同組合

理事長 大野 真 二

専務理事 瀬 尾 彰 一

大分市大字下郡496-38 大分県教育会館内

TEL: 097-556-4666 / FAX: 097-556-9388

URL: www.oita-koseikyouschool-info.jp/

あんしん むすぶ

教職員共済

<https://www.kyousyokuin.or.jp/>

あけましておめでとうございます

今年も各共済のご加入・ご利用よろしくお願いします。

教職員共済とは

- 厚生労働省の認可を受けた、共済事業を行う生協です。
- 教職員・教育関係者だけが加入できる共済生協です。
- 教職員を組合員とする、教職員と家族を守るための共済生協です。

「教職員」の皆さまの生活をトータルサポート!

総合共済	トリプルガード (団体生命共済・医療共済)	レスキュースリー (交通災害共済)	自動車共済
火災共済 自然災害共済	新・終身共済 (終身生命共済)	年金共済 (年金共済・遺族年金共済)	車両共済 (車両保険)

※総合共済以外の共済は、ご退職後もご利用いただけます。

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 大分県事業所 所長 横道信哉

大分市大字下郡 496-38 大分県教育会館 2F TEL: 097-556-4300

あけましておめでとうございます

皆さまにおかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

本年より新 NISA が開始され、「貯蓄から投資へ」という流れが加速するとされています。

ろうきんは設立以来、一貫してめざしてきた金融商品・サービスの提供による勤労者の経済的地位の向上に向け、今後も皆さまにとってより良い提案活動を行なってまいります。

今後とも、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



九州労働金庫大分県本部
本部長 佐藤寛人

ろうきんで



NISA

詳しくはこちら

はじめてよう

謹 賀 新 年

あけましておめでとうございます。

旧年中に組合員の皆さんからいただいたご厚情に厚く感謝申し上げます。

憲法をめぐる情勢が厳しくなった今、私たちは「教え子を再び戦場に送るな」の不滅のスローガンのもと、憲法改悪を許さず、いのちを守るとりくみに邁進します。

皆様の今年一年のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



執行委員長 大野 真 二
副執行委員長 福田 洋 平
書記長 窪 田 一 真
書記次長 首 藤 哲治郎
執行委員 仁 木 史 絵
執行委員 後 藤 恵 美

執行委員 隅 田 智 之
書記 葛 城 美華子
書記 田 邊 智恵美
書記 野 村 宏 美

特別執行委員 則 松 佳 子 (日本教職員組合特別中央執行委員)

